

夏休みのくらし

夏休みは子どもたちにとって、学校教育を離れて家庭を中心とする地域社会でじっくりと過ごす時です。いろいろな体験を通して、子どもたちの生活経験を豊かにし、基本的な生活習慣、自主性、協調性、創造性等を育てるよい機会でもあります。生活リズムを崩すことなく、安心安全で充実した夏休みが過ごせますよう、ご家庭でも、お子様と以下のようなことを話し合っていたいただけたらと思います。

1. 家庭生活

- ①健康で規則正しい生活をしよう。
 - ・早寝早起きをして1日8時間は睡眠をとろう。
 - ・ゲーム、インターネット、スマホ、タブレットの使用に関して、家族でルールを決めよう。
- ②ふれあいを大切にしよう。
 - ・あいさつをしっかりと、家族団らんの場をもうけよう。
 - ・手伝いをすすんでしよう。



2. 学習

- ①朝のすずしいうちに学習をしよう。
(1日の学習の目安 低学年30分、中学年60分、高学年90分)
- ②運動をして体をきたえよう。
- ③本をたくさん読もう。



3. 健康で安全な生活

- ①自転車は、交通ルールを守って乗ろう。
 - ・飛び出し、二人乗り、無灯火運転は絶対にしない。
 - ・道路、公園の出入り口付近など通行の邪魔になるところには自転車を置かない。
 - ・家の人の許可なく、子どもだけで校区外に行かない。
 - ・学校へは自転車に乗ってこない。
- ②道路上や駐車場、用水路、田畑、川、池、マンションの共有部分など遊んではいけない場所や、他の人に迷惑がかかる場所で遊ばないようにしよう。
 - ・線路内への立ち入り、置き石、投石などはしない。
 - ・禁止区域での魚釣りや水泳はしない。
 - ・道路でローラースケートやボード遊びはしない。
- ③学校外のプールは、家の人または責任の持てる人と行くようにしよう。
- ④夏祭り、盆踊りなどへは家の人と一緒にいこう。
- ⑤花火は安全な場所で、大人と一緒にしよう。
- ⑥火遊び、爆竹、エアガンなどは大変危険なので禁止。



4. 特に気をつけて欲しいこと



- ①見知らぬ人に、絶対について行かない。見知らぬ人の車に絶対に近づかない。乗らない。
 - ・被害にあいそうになった時は、「まもれあまっ子110番」という黄色い旗が立っている家や店・コンビニ等の入れそうな所へ行き、助けを求める。
- ②外出する時には「だれと」「どこへ」「何をしに」「いつまでに帰る」等を伝える。
- ③夕方暗くならないうちに家に帰る。日が暮れてからは子どもだけで外出しない。
- ④映画館、ゲームセンター、カラオケ、ショッピングセンター（たとえば、つかしん、イオンモール、イズミヤ）などの繁華街へは子どもだけで行かない。用事がない場合は、お店の中には入らないようにしよう。
- ⑤物やお金の使い方を考え、必要のないお金は持ち歩かない。友だち同士のお金貸し借り（おごったり、おごられたり）は絶対にしない。
- ⑥友達の名前や住所や電話番号は、悪用されるかもしれないので人には絶対に教えない。
- ⑦携帯電話、スマートフォンのメール、LINE、インターネットサイトなどに、人を傷つけたり、だれかが不快になったりするような書き込みを絶対にしない。
- ⑧不審者を見かけた場合、事故が発生した場合は、すぐに警察に連絡しましょう。
尼崎北警察署への連絡は 6426-0110
学校への連絡は 6433-6746
- ⑨夏休み中も、感染予防、熱中症対策をとりながら過ごしましょう。



<夏休みの合言葉>

- ㊦ 何でも挑戦 勉強・運動
- ㊧ 続けていこう 早寝早起き朝ごはん
- ㊨ 約束守ろう しっかりと
- ㊩ すずんでやろう お手伝い
- ㊪ みんなで楽しく 夏休み!!

始業式

8月25日（金）
いつも通りの時間に登校しよう。